



只見駅開業60周年 イベント開催!!



1963年の開業から60年を迎えた只見駅の開業60周年を記念したイベントが、8月20日にJR只見駅前と季の郷湯ら里で開催されました。

只見駅前では、開業60周年のお祝いに駆けつけた人達が、会津若松方面から入線してきた列車に手を振るなどし、お出迎えをしました。また、同駅でJR東日本とJR只見線利用促進実行委員会の共催でセレモニーが開催されました。

セレモニーでは、実行委員会長の渡部町長と只見駅を管轄する会津坂下駅の藺田駅長が挨拶をしました。その後、若い人が未来に向かって只見線を繋いでいくという思いを込めて、昨年夏に只見線全駅を自転車ですらった角田杏さんや、昨年10月の只見線全線運転再開日に一日駅長を務めた角田淳紘さん、只見駅周辺の魅力化向上にご協力いただいている埼玉工業大学の黒岩拓真さんなど若い人を交えて、関係者で

くす玉を割り、60周年をお祝いしました。また、只見駅開業60周年記念只見町オリジナルナンバープレートとの交付式も行われました。

引き続き、季の郷湯ら里で、実行委員会の主催で、ローカル鉄道ファンとしても知られ、只見線関連のイベントにも度々お越しいただいている俳優の六角精児さんによるトークと音楽ライブが開催されました。

六角精児さんは、「正直、全線再開できると思わなかったのが驚きました。沿線住民の思いが、JRや国、県を動かしたのだと思います」と話し、「住民の強い気持ちで復活した只見線は、今後、全国で存続が危ぶまれるローカル線の道しるべとなります。奥会津の力を全国に見せつけてやろうじゃないですか」と力強く語りました。

また、ライブでは、自身が作詞作曲した「只見線のうた」を歌い、来場者と一緒に関業60周年を

お祝いしました。

ライブ後は、同会場で記念式典も行われました。

式典では、渡部町長と東日本旅客鉄道株式会社の三林東北本部長が挨拶しました。その後、俳優の六角精児さん、鉄道風景画家の松本忠さん、只見ボランティアしゃくなげ会、塩沢老人会、かかしづくりの会、只見町在住の五十嵐郁夫さんの只見駅の復興や沿線整備活動等への感謝を込め、それぞれに感謝状贈呈が行われました。

また、埼玉工業大学の本吉裕之先生、森沢幸博先生が、只見町の観光スポットを紹介するAR動画プロジェクトについて説明し、今後の只見線周辺地域の活性化に触れました。

他にも、夕方から只見駅前前で駅前広場屋台村実行委員会による「只見駅60歳お誕生日パーティー」が開催され、屋台などで来場者をお出迎えし、夜には記念花火が盛大に打ち上げられました。



▲あいさつをした菌田駅長



▲手を振る他に、横断幕やシャボン玉などもお出迎えに華を添えました



▲くす玉を割った関係者の皆さん



▲オリジナルナンバープレートを受取った皆さん



▲お祝いに駆け付けたJR東日本会津若松エリアのキャラクター「ぼぼべえ」



▲感謝状贈呈を受けた皆さん



▲「只見線のうた」が始まると会場一体となり、只見駅60周年をお祝いました



▲只見線への熱い思いを語る六角精児さん



▲プロジェクトの紹介を行った本吉先生(右)、森沢先生(左)



▲屋台村は子どもから大人まで多くの方で賑わいました

**只見駅開業
60周年記念**

「篠崎隆一 只見線写真展」開催中

篠崎隆一氏が只見線開業以来から撮影し続けた只見線の写真を季節の郷湯ら里ロビーで展示しています。

地域住民に寄り添い、共に走り続けてきた只見線の歴史や懐かしい姿をご覧ください。

会期は10月9日までです。ぜひ一度ご覧ください。

